

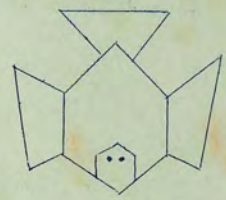
裁縫の扣集

昭和十六年三月廿日 卒業に際して

10017

目次

單衣ニ就イテ	(夏)
名古屋帶ニ就イテ	一三
本裁 單着物裁断ニ就イテ	一九
女向 本裁 袷着物ニ就イテ	三三
本裁 女向 單長襦袢ニ就イテ	五〇
本裁 女向 單羽織ニ就イテ	五八



單衣ニ就イテ

籠附ケ及ビ縫ヒ方順序

(一) 脊縫

普通衿肩明キヲ右ニシテ裾ノ方ヘ縫ヒ下ス
脊伏セ縫ヒ 中表ニシテ向フ側ヲ四分ニ折り、手前側ノ縫ヒ込ミ(一分五フ)トシ向フ側ハ折山ヨリ(五フ)ノ深サニ縫ヒ合セ、折目ヲ起シ縫ヒ込ミヲ包ミテ身頃ニ納ケ附ケル

(ロ)

脊伏セ切レ附キ 用布別布ニテ 丈||身頃 丈ト同寸法 幅||脊縫ヒ込ミニ倍ニ縫ヒ込ミ(四分)

(ハ)

袋縫ヒ 中表ニ布ヲ合セ、耳ノ端ヨリ(五フ)ノ深サニ空縫ヒシ裏返シ(二分五フ)ノ深サニ縫フ(裾及ビ居敷當、肩當、ノ部分ハ空縫ヒセズ)

(ニ)

二度縫ヒ 中表ニ布ヲ合セ、脊縫ヒ込ミ(三分)ノ深サニ縫ヒ更ニ、耳ノ端ヲ淺ク縫フ

袋縫ヒ及ビ二度縫ヒノ場合、居敷當附キハ居敷當迄デ、無キ時ニハ、裾ヨリ(二尺五寸)上迄デ、水返シ縫ヒ、又ハ縫ヒ返シヲナス

(イ) 袖附ケ

單着物袖附ケト同様

(ロ) 袖振り衽メ

・單着物袖振り衽メト同様（門留ハナサズ）

名古屋市昭和区鎌田町三ノ二。

名

騰

社

衽メ

此ノ扣集ノ中ニアル總テノコトハ皆今迄ニ會得
シタルコトバカリナルガ將來愈々事多キ生活ニ
入ルニ於テハ忘却スルコトモ無イトハ言ヘナイ
カラソノ時、各自ノ記憶ヲ甦ヘラセルニ便利デ
アリ、最モ有効ナ方法ナリト信ジ、皆ノ請ヲ入
レ此レヲ作製ス。

(五) 表返ニ方

(イ) 垂ノ方 垂端ヲ少シ返シテ置キ疊ミ返シトナスカ、又ハ返シヨリ、

手ヲ入レ垂端ヲ持テ、除クニ皺ニナラヌ様引キ出ス

(ロ) 手ノ方 垂ノ方参照セラレタシ(巾袂キニ付キ注意)

(六) 垂境ヒ納メ及ビ表返シヨリケ

(イ) 垂境ヒ納メ 垂裏布ヲ中表ニ半巾ニ折リ、垂境ヒニテ縫込テ、芯布ニ

挟ミ綴分附ケル(垂端デ垂裏布ガ出ナイ様)

(ロ) 表返シヨリ 片側ヅツ芯布ヲ正シク包ミ綴分附ケ、両側合せ、折リキセ

寸法ガケ内側ヲ一針貫キニテ紬ケル(縫目ト同ジ針目ニ)

ポケット内側ヨリ、側ニ大小ヒツケ掛ケル事

(ハ) 門留 垂境ヒ、ポケットト口留ノ三ヶ所ニナス

本裁 女向 單着物裁断ニ就イテ

和服姿ヲスツキリト恰好ヨクスルニハ、仕立テル方法ダケデナク、柄ヤ縞ノ合セ方ヲ工夫シ、單ニ只寸法ニ據ツテ裁ツノミデハアリマセン。

柄ノ合セ方ニ不注意ナタメ、廣イ肩巾ヲ益々廣ク見セタリシ程デモナイ、才尻ヲ大キク見セタリスルコトヤ、之ト反對ニ柄ヲ、上手ニ合セタオ蔭デ、榮養着点ノ方モ、サホド肥ツタ感ジテ他人ニ與ヘナイト云フコトガ、有ルモノデスカラ、折角ノ模様ヤ縞ヲ生カシ、各々ノ寸法ヲ横リ方ニ依リ算出シ、紋附キハ紋頭及ビ、紋下リニ間違ヒ無キヤ、否ヤヲ充分確カメテ(缺ヲ入レテカラデハ取返ヘシガツキマセン)裁ツヤウニシタイモノデス

左ニ柄ニ依ル裁方ノ大要ヲ参考マデニ紹介シマスガ、尚個々ニツキ一層ノ研究ヲ要シマス、飛模様ハ申スマデモナク市松、井桁、矢鉾、縞ト模様ト混合ノモノ等莫ク他多様々デスガ、大テイノモノニ共通スル柄ノ合セ方ハ、模様ノ向キノ上下、距離レ加減ニ、注意シ脊筋

大柄ノ飛模様

袖附ケ、衿附ケ（特ニ上前）等ヲ互ヒ違ヒニナシ模様ヲ並バセヌコトニ注意シマス

着物ハ第一ニ上前ノ膝カラ下ヲ杼シクナラヌ様、裾ヨリ（二尺）位イ上マデノ間ニ模様ノ、一番目立ツ良イ部分ヲ、身頃ト衿ニ繪葉模様風ニ配置シ、次ニ肩（或可ク右肩）ト後身ノ裾カラ（一尺八寸）位イニ（肩ニ柄が無イト肩巾が廣ク見え、足敷ノ辺ニ柄が無イトソレ程デナイ才尻が榮養満点ニ見エル）柄ヲ出シ、其ノ他両袖、胸元、脇（特ニ左脇）衿等入レ違ヒニ、着附ケミテカラノ模様ノ出エ合フ工夫スル。羽織ハ後ニ出ル柄ヲ本位トシタ、裁合セが必要デ、第一ニ右肩ノ良イ柄ヲ出シ、左身頃及ビ左右ノ袖ハ、入レ違ヒデ後裾ニ出ル柄が裏ヘ廻ラヌ様工夫シ、脇入レノ柄ハ後トノ、釣合ヲ見テ定メル。

ゴートハ後身ノ柄ヲ、着物ノ後身ノ如ク、配置ヨク互ヒ違ヒニ合セ前身ハ左胸元及ビ、裾ヲ杼シクナラヌ様ニシテ、上前立衿表ニ良キ柄ヲ出シ、身頃トノ調和ヲ調へ、脇ハ無地ノ所ガ並バヌ様ニシ、左右ノ袖ハ身頃トノ、釣合ヲ見テ入レ違ヒニ合セル。

横段 柄

粹好ミトサレ以前ハ脊筋モ袖附ケモ、衿附ケモ一直線ニ揃ヘタモノデスカ、若向ノ大柄ヤ色調ノ強イ目立ツモノハ、キツイ感ジバカリテナク、ヒドク巾廣ニ見え肥ツク方ナド、殊ニ醜イモノデスカラ全部入レ違ヒニシタ方が良く、瘦セタ脊ノ高イ人ハ、揃ヘタ方がヨロシイ、尚何種カノ異色ヲ、使ツタモノハ、ソノ内ノ一番強イ色調ヲ主ニシテ入レ違ヒニ合セル

縦縞ノ喪リ柄

巾ノ半分が太ク、半分ハ細イ縞物ヤ、濃淡色調ノ違フモノヤ、一部縞デ一部模様又ハ併等ノ、流行モノハ上前身ト衿、身頃ト衿（胸元、衿ニ太イ縞ヲ出セバ若向トナリ、反對ニ細イ縞ヲ出セバ地味向トナル又衿ニ濃淡アレバ、衿山ニ濃イ色ヲ出シ、半衿トノ調和ヲ良クスル）及ビ脇（特ニ左脇）等ノ調和ヲ見テ、全体ヲ（袖附ケモ）入レ違ヒニ合セル

一方向キノモノ（模様ノ向キニ上下ノアル）

上前ノ模様ヲ上向ケ、下前ノ逆ニシ（右後ハ上向キトナリ左後ハ下

斜柄

向キトナル) 衽及び袖ハ、左右共後ヲ上向ケ、大柄飛模様ノ要領デ模
様ノ位置ヲ合セル

斜直線ニ合セタ方が綺麗デス、(表裏ヲ違ヘルト斜柄ガ反對トナツテ
見苦シクナリマスカラ注意ヲ要ス) 大キ斜目入違ヒニスル、小柄ソロ
ヘル模様モ全シ

以上ハ大略ノ説明デスガ右ヲ参考シテ織疵、織及び染斑、汚点、殊ニ友
染ヤ、小紋等ノ型染物ノ型接ノ有ル(反物ノ中央ニヨク有ルカラ注意)
場合ハンノ位置ヲヨク調べ、縫込ミ又ハ着附ケシテ隠レル所ニ入レ甚ダ
シキモノハ、丁度裁目ニナル様、柄ノ大小、色調、年齢、体格、季節、
好ミ等ニ考慮工夫シテ(裁断図ノ如ク、始メニ左右ノ袖ヲトリ、次ニ面
身頃、残りヲ衽衽ニスル事ノ、出来ヌ場合ガ有リマス、又縞ヤ柄ヲ上手
ニ配置スルタメニ、衽肩明ヲ反對側ニ明ケ、追裁スルト云フ風ニ) スツ
キリト上品ニ恰好ヨク現実ニ即シタ裁ヲセネバナリマセン。

積り方ニ就イテノ備考

(一) 裁切り身丈ニ對スル出来上り身丈寸法

- (イ) 繰越附ケザルモノハ裁切り身丈ヨリ(一寸) 減ジタ寸法トナル
- (ロ) 繰越附ケ衽肩明ヲ四ツ山ニ明ケル場合ハ裁切り身丈ヨリ(一寸) ト更
ニ繰越ノ二倍ヲ減ジタ寸法トナル
- (ハ) 繰越附ケ衽肩明ヲ繰越シテ明ケル場合ハ裁切り身ヨリ(一寸) ト更ニ
繰越ノ分ヲ減ジタ寸法トナル

(二) 裁切り衽下り

- (イ) 男物ニ出来上り(五寸) ニ付キ上ノ縫込ミ(五分) 減ジ(四寸五分) ト
スル
- (ロ) 女物ニ出来上り(六寸) ニ付キ上ノ縫込ミ(五分) 減ジ(五寸五分) ト
スル

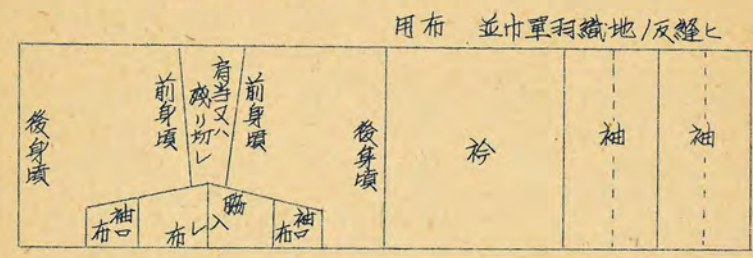
(三) 衽

- (イ) 片面物 (イ) ハ裏 トナリ カラ減可ク避ケル方がヨクシク
- (ロ) 斜柄 (ロ) ハ斜ガ反對トナル
- 衽ニニ裁ツ場合、うば衽(函参照) トシテ下前ニナル方ノ衽丈ヲ揃
ミ縫代ガケ長クナル様(積り方及び裁方) 注意ヲ要ス

本裁
女物
單羽織
二就
イテ

(一) 裁子方及ビ積り方

(イ) 本裁女物單羽織裁子方



(ロ) 積り方

袖用布 (袖丈 + 縫込^(1寸)) × 4

衿用布 (身丈 + 7寸) × 2

後身頃用布

(出來上り身丈 + 衿付^{3分}の縫込^{1分} + 縫縮^{1分} + 裾返^{3寸} + 折り込^{3寸}) × 2

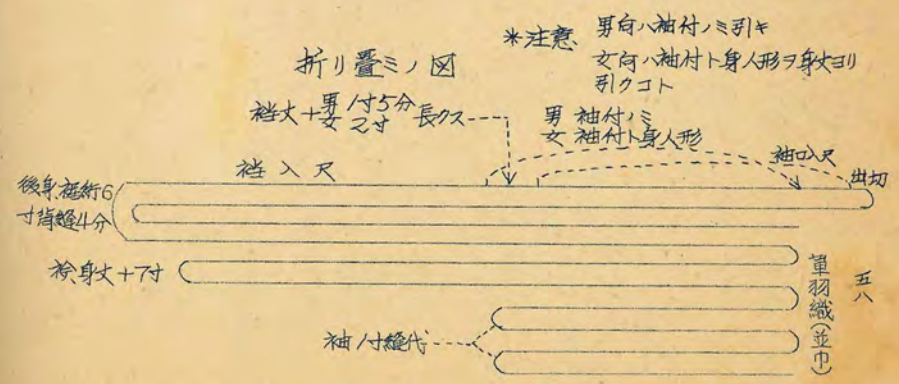
前身頃用布

前落^シ布ヲ袖口布ト脇入レ布ニ使用スルカ
(後身頃丈 - 袖附ケ - 身ハッロ + (袖口明 + 1寸5分) × 2 + 2寸) × 2

備考

衿ノワケハ衿肩明ト繰越ノ2倍ト前下リ及ビ衿先縫込ナリ
前身頃ノ2寸ハ繰越ト脇入レ下リト乳用布及ビ脇入レ上ノ縫込ミナリ

折り畳ミノ図



(二)

前

以上ノ積り方デ図ノ如ク袖、衿、後身頃、前身頃(袖口布、脇入レ布ヲ含ム)ノ順ニ折り畳ミ各々ノ寸法ニ間違ヒナキヤ否ヤヲ確メ袖用布ト衿用布ヲ裁キ切り、身頃ト袖口布及ビ脇入レ布トノ裁子分ケハ身頃ノ範^附ケノ際ニナス。

落^シ (身頃ト袖口布、脇入レ布ノ裁子分ケ)
身頃用布 (袖口布、脇入レ布ヲ含ム) 全体ノ丈ヲニツニ折り輪ノ方ヲ前身頃(袖口布、脇入レ布ヲ含ム) トナシ裾ヲ右背筋ヲ手前側トシテ裁子目ノ端及ビ手前側ノ耳端ヲニ枚揃ヘテ後身頃ヲ正シク列ベ後身巾ヨリ内ニ千鳥形ニ待針ヲ打子裾ノ方裁子目ノ端カラ衿肩ヲ定メル(裾返ニ(六寸)ニツ折りシテ(三寸)トナル)ト身丈ニ(四分)加ヘタ寸法)

別布肩當附ケノ場合ハ身頃ノ衿肩ト肩當ノ衿肩及ビ背筋ノ耳端ヲ四枚正シク揃ヘ待針ヲ打ツ(別布肩當用布... 普通並巾ニテ(三尺)... (三尺五寸)使用ニテ前後ノ差ヲ(三、四寸)ツケ後ヲ多クスル)

待針ガ打テタラ屏風畳ニシテ右へ移シ前身頃(袖口布、脇入レ布ヲ含ム)ヲ手前側ノ耳端ヲニ枚正シク揃ヘ真直グニ列ベ(別布肩當附ケノ場合肩當毛揃ヘテ)身巾及ビ前落^シ(袖口布、脇入レ布)巾ヨリ内側ニ後身頃ト同様ニ待針ヲ打ツテ衿肩ヨリ(一寸)下デ(二寸七分)前裾(身丈範ニ繰越ノ二倍ト

六、脇入レト脇ノ縫込ミ納メ
 七、裾折ケ
 八、袖縫ヒ
 九、袖附ケ及ビ袖振り納メ

(一) 背縫 單着物ノ背縫参照、品質ニ應ジ伏縫、袋縫、二度縫等ノ縫ヒ方デ伏縫袋縫ノ場合ハ裾折ケノ一寸内カラ下ハ空縫セズ

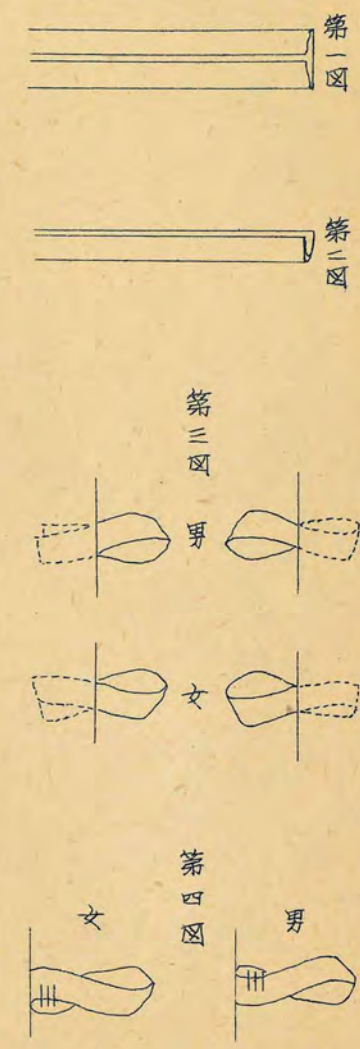
(二) 前身裾折リ、前下リ、裾返シ籠通リアイロンデ裾折ケ山ヲ折リ、更ニ裾山ヲ折ツテ三ツ折リニナシ(前下リノタメ折リ込ミ端及ビ裾折ケ山ガ前身裾折ケノ外ハ八、九分出ル裾折ケ際ヲ綴ル)

(三) 肩当ト乳附ケ (前下リノタメ布目が斜デ伸ビ易シ三ツ折リノ際注意ヲ要ス)

(イ) 肩 当、共地使用ノ場合ノ依リ方、附ケ方ハ單着物ト同ジ、別布使用ノ場合ノ依リ方、背綴ガハ單着物ニ準ジ、前身ノ綴ガハ裾折ケノ際ヲ身頃ト正シク合セテ綴ル(籠附ケ、折肩明ハ身頃ト一ニヨナス)

(ロ) 乳附ケ、巾四分、丈二寸一分、ノ布ヲ第一図ノ如ク巾ノ両端ヲ一分ヅ、折リ、更ニ第二図ノ様ニニツ折リトナシ(出來上リ巾一分トナル)丈ハ一寸五厘ヅ、ニニツニ切り第三図ノ如ク輪ノ方ヲ内側ニ疊ミ身頃裏ノ乳附ケ下リ位置ニ身頃ノ裁子目ト乳ノ端ト揃ヘテ裾折ケ縫込ミ代ヘ三、四針綴ル附ケル。

乳作りノ図



(四) 衿

(イ) 衿折リ、布裏ヲ上面ニシテ出來上リ衿巾一寸七分ノ二倍ニ(六分)加ヘタ(四寸)巾(表衿)ヲ一方ノ端カラ(四、五寸)目毎ニ丈全体ハ標シ(標ガ折リ山(イ)デ着表側、表衿ノ耳ノ方ガ着裏側)外表ニ折リ(折リ目ノツカヌ品ハ縫製ヲカケ)内衿ノ方カラアイロンデピツタリサセ、表衿ヲ下ニ着表側ヲ内側ニ遣キ(第一図参照)内衿ヲ表衿ヨリ六分三厘控ヘテ第二図ノ様ニ折リ(折リ山(ロ)更ニ(ロ)ノ折リ山ヲ(イ)ノ折リ山ヨリ七分三厘控ヘテ折リ山ニ隙ノナキ様折リ伏セル(コノ折リ山(ハ)第三図参照)。